

令和4年度自己評価公表シート

作成 飯島幼稚園

1、本園の教育目標

元気に生き生きと活動し情操豊かで思いやりのある子ども

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・本園の教育目標に基づき、運動・音楽リズム・表現遊びの研究を深め、質の高い保育を目指す。
- ・指導計画は、幼児の発達や実態を踏まえ様々な分野の遊びをバランスよく取り入れ立案する。PDCA サイクルを活用し保育内容や教師の援助を見直し次に生かしていく。
- ・園内研修の充実を図り、教師の資質や保育の向上に努める。

3、評価項目の達成および取り組み状況

	評価項目	結果	取り組み状況の反省
学園の重点項	教育目標の具現化に向け、学園独自の研究（運動・音楽リズム・劇・絵画表現）を総合的に取り入れ、保育を計画・実践する。	A	感染症拡大により休園や行事の延期もあったが、状況に応じて指導計画の見直しを図り実践することができた。自己研修を通して、教師がそれぞれの分野で技術向上を図ることで、保育にも反映させることができた。
自園の重点項目	指導計画は幼児の発達や実態に基づき作成し、共通理解した上で保育展開をする。	A	昨年の経験を踏まえ、各学年の発達段階を捉えながら実態に即した指導計画の作成ができていた。また、これまで以上に子どもの興味関心のある事柄に着目し、職員間で情報交換や共通理解しながら保育計画の立案や行事の見直し等にもつなげることができた。
	園内研修の充実を図り、教師の資質の向上につなげ、子どもの豊かな経験につなげる。	B	各クラスの公開保育を行う中で、子どもの姿を多面的に捉え、内面を深く理解することにつながった。一方で職員全員の参加が難しい事もあるため、全体の共通理解が図れるような研修の持ち方や伝達の仕方が課題となった。

4、学校評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
A	感染症拡大による休園や行事の延期等もあったが、随時、指導計画の見直しを行い、共通理解を図りながら保育にあたることができた。園内研修や日々の保育の振り返りの時間を通じて、職員間での意見交換の機会が充実してきた。子どもの内面を深く理解し、教師の援助の在り方、環境の見直し等を行うことで教師の資質や保育の向上につながってきている。

※3、4の評定結果の表示方法

【A】…十分達成されている。【B】…達成されている。

【C】…取り組まれているが、成果が十分ではない。【D】…取り組みが不十分である。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
様々な研修の充実を図り、教師の資質や保育の向上に努める。	様々な分野の園内研修を実践すると共に、外部の研修にも積極的に参加する。研修後は、職員全員に研修の成果を伝達することで、知識や学びを共有し、教師の資質や保育の向上につなげたい。また、個々の自己研修に努め、それぞれが計画性を持ちながら、自身の保育スキルのレベルアップを図る。
教師間の情報交換を密にし、連携を図りながら、園全体でのチーム保育を展開する。	クラス・学年等の枠を超え、子どもの姿や保育の状況に応じて、臨機応変に対応できるようにする。日頃から教師間のコミュニケーションを大事にしながら、日々の保育の振り返りや研修報告等を全職員で共有し、共通理解のもと保育にあたる。